

まなぼら



Contents

特集

思いをつなぐ バトンをつなぐ ～地域を支える活動～

元気人

がん患者と家族の会 にじいろ 江中 忠孝さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 第15回「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止運動」
スピーチコンテスト

- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- ワークキャンプ実施しました！
- 視覚障害者交流会（りんご狩り）参加者募集

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- 報告 団体基盤強化講座を実施しました！

思いをつなぐ バトンをつなぐ ～地域を支える活動～

普段、私たちが暮らしている地域が、少しでも住み心地のよいものになるよう、その地域の安全・安心を守り、生活を支える様々な活動に取り組んでいる人たちがおられます。地域住民のために日々奮闘されている数多くの団体の中から、3つの団体の活動を3名の方のインタビューを通してご紹介します。

この機会にみなさんも今一度、地域のつながりの大切さについて考えてみませんか。

インタビューでお聞きしたこと

- ①どんな活動をしていますか？
- ②この活動を試みようと思ったきっかけは？
- ③活動のやりがいはどんなことですか？
- ④地域での役割を教えてください
- ⑤次の世代に伝えていきたいことは何ですか？

① 民生委員・児童委員は、地域を見守る身近な相談相手です。厚生労働大臣の委嘱による委員であり、地域の方から相談を受けて、支援を必要とする方と行政や専門機関をつなぐ活動をしています。自治会長と民生委員・児童委員は互いに相談することがありますので、日頃からお互いに困りごとがあった場合、協力することが必要です。

② 一つは、親が自治会長、親戚が社会福祉協議会の会長だったことがあります。また、人から民生委員・児童委員になるよう勧められて悩んでいた時、その活動について知っていた主人が、後押ししてくれたことがきっかけです。

③ 相談を受けた方から「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時に、やりがいを感じます。外を歩いていると、子どもから大人まで色々な方から声をかけてもらえることが嬉しいです。そういった長い付き合いが始まっていることもやりがいに繋がっています。

④ 社会福祉活動は、民生委員児童委員協議会にとって、欠かせない大切な活動だと思っています。自治会や社会福祉協議会などの関係団体、行政との連携に努めています。地区の敬老会や文化祭へ参加の呼びかけもしています。

⑤ 民生委員・児童委員は大変というイメージがついているようですが、そうだとは思いません。地域の方に「ありがとう」と言われるやりがいのある活動です。歳をとっても、新しいことをするのに遅すぎることはありません。戸籍年齢より見かけ年齢を若くして活動しています。もし、民生委員・児童委員へのご縁があった場合、無理をしないで、協調性を大切に、楽しい活動にしましょう。



勝間地区民生委員児童委員協議会
会長 重枝 操さん

勝間地区青少年補導員 代表 濱田 紘海さん



① 勝間地区では、毎月一回、自治会、民生委員児童委員協議会などの団体が集まり、夏は18時半から、冬は18時から約1時間、地域内をパトロールしています。声掛けもありますが、通学時に危険なところや防犯灯のチェックなども行い、必要に応じて行政に相談しています。

② 自治会から話があり、地域のために必要だと思って受けました。

③ 勝間地区で大きな事件・事故がないことを嬉しく思っています。また、パトロールは地区の各団体に呼び掛けて実施しているため、自治会や社会福祉協議会、子ども会などとの連携がとれるようになり、青少年補導員をやったよかったですと思っています。青少年健全育成や防犯などの活動をしなれないといけないという思いが他の団体にもつながり、地区全体が一つになっていると感じます。

④ 青少年や地域の安全を守るために大変重要な役割を担っています。子どもが成長する段階で、僕たちのような大人が活動している姿を子どもに見せ、見本にならないかなと思っています。

⑤ 今の活動をさらに次の世代につなげてほしいです。次世代でも、勝間地区の、防府市の、山口県の、そして日本の子どもが非行に走らないようにと思っています。まずは小さいところ、勝間地区からやっていきたいです。



小野地域自治会連合会 会長 山崎 博英さん (元鈴屋自治会長)

① 地域住民が互いに支え合い、顔の見える関係づくりをすることです。

② 自治会活動をしている多くの方々と親しかったり、お世話になっている人に協力したいと思ったりしたことが、大きいかもしれません。大変なことは知っていたけれど、これまでお世話になっていた方々や、地域のために貢献しようと思いました。

③ 誰かに喜んでもらえた、楽しんでもらえたという人の喜びを感じることはやりがいの一つですが、最も感じているのは『自分のために』という思いです。『自分のために』と言うと自己中心的に聞こえるかもしれませんが、経験豊富な人の話を聞いたり、相談を受けたりする機会が多いので、日々新しいことを知ることが出来る体験こそが、自分を成長させていると感じます。

④ 地域のイベントを支えたり、運動会などの娯楽的行事を盛り上げる協力をしたりすることで、人と人とのつながりや、絆をしっかりと作っていくことです。また、隣近所に住んでいる人の顔が分かり、生活する上で困った時に声を掛け、相談し合える関係性につなげていくことです。

⑤ 若い人たちは、まだ自治会活動の必要性を身近に感じていないかもしれませんが、しかし、人は一人だけで考え動いてもうまくいかないし、目指すことを成し遂げることは難しいです。人と人が助け合う基盤が自治会活動にはあると感じています。若い世代と人生経験豊かな世代がお互い歩み寄り、未来を考えられるといいと思います。



江中 忠孝

Enaka Tadatoka

さん

がん患者と家族の会 にじいろ

『がん患者と家族の会 にじいろ』は、がん患者と家族の方が誰でも気軽に参加して、がんの悩みや不安を話したり体験談を聞いたりできる場所を作ること、一般の人にがんの正しい知識をお伝えし、一次予防、二次予防の大切さを認識してもらい、ご自身と家族の健康と未来を守ってもらうこと、患者の思いを行政に伝えることで地域の医療、福祉の向上に資することを目的として2024年3月に設立されました。

江中さんが、『がん患者と家族の会 にじいろ』を立ち上げたいと思ったきっかけは、ご自身の経験からです。46歳の時に腎臓がんを発症し、以後、膀胱がん、膀胱がんの肺転移を経験されました。膀胱がんで膀胱の全摘の手術をすることになった時、主治医から手術説明を受けたそうです。しかし、術後はどう生活していけばいいのかなど全くイメージができず、大きな不安を抱えていました。そうした時、病院内にがん患者サロンがあることを知り参加されました。偶然、江中さんと同じ手術を受けた先輩患者さんがおられ、手術後の生活の注意点や使用する装具の交換方法など、詳しく話を聞くことができました。この時、江中さんは、「モヤモヤしていたものがパッと晴れたような気がした。経験者の話がこんなに役に立つのか」と実感され、「“がん”という経験は誰にとっても嫌なものだけれど、でも、その経験を話すことで人のためになることがある」と強く感じられたそうです。

江中さんはその後、二度のがんの手術を乗り越

えられ、2024年3月にご自身の経験をもとに『がん患者と家族の会 にじいろ』を立ち上げられました。この団体では、次の3つを柱として活動を行っています。

- ①がん患者さんの居場所を作る活動
- ②一般の人へのがんの正しい知識を伝える活動
- ③がん検診の大切さを伝え、がん検診の受診率を上げる活動

江中さんは今後の活動について、「現状のがん患者サロンの開催をベースにして、病院や医療専門職、介護福祉、行政などと患者さんをつなぐことのできる“リンクワーカー”になりたい。防府市、山口県のがん検診の受診率を上げるために何をすればいいのかをしっかりと考え、行政機関にも伝えていきたい」と話されていました。

がん患者サロン にじいろ

開催日：毎月2回土曜日 12：30～15：00

場 所：防府市市民活動支援センター

(ルルサス防府2階)会議室または作業室

問合先：防府市市民活動支援センター（7P参照）



防府市生涯学習課



第15回『社会を明るくする運動』『青少年の非行・被害防止運動』

スピーチコンテスト

7月27日(土)、防府市創業・交流センター(デザインプラザHOFU)で『第15回「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止運動」スピーチコンテスト』が開催されました。市内中学校の代表生徒9名が、家庭生活、学校生活の中で体験したことや見聞きしたことをもとに、犯罪や非行問題に関して考えたことや感じたことを堂々と発表しました。審査の結果、『言葉を受け取るその先を』の題でスピーチした佐波中学校2年の松本 羽末(まつもと うみ)さんが最優秀賞に選ばれました。



▲最優秀賞を受賞された松本 羽末 さん



佐波中学校の生徒のみなさんがボランティアで受付のお手伝いをしてくださいました♪



▲スピーチをされた中学生のみなさん

報告♪ ほうふ幸せます人材バンク



指導者バンク登録講師による公開講座『夏季学ぼうやセミナー』

7月28日(日)、笑顔満開通りルルサス文化センター、ルルサス防府で『夏季学ぼうやセミナー』が開催され、指導者バンクに登録されている講師による17講座と、国立山口徳地青少年自然の家、事務局主催の2講座が開講されました。延べ488名の方が参加され、それぞれお目当ての講座で学びを深めました。

ものづくりができる講座、講師の話を聞いたり議論したりしてじっくりと学べる講座など、さまざまな講座があり、大人も子どもも1日でたくさんのことを楽しく学ぶことができました。子どもたちは、ステんシルのボードやストロー紙飛行機などのものづくりに熱心に取組んでいました。また、街の中でネイチャーゲームをしたり、自然素材を使った小物づくりをしたりと、自然に触れる体験をすることもできました。

講師のみなさんは、「楽しく指導できました」「みなさん楽しく体験され、笑顔がすてきでした」「ディスカッションでは、活発で前向きな意見が出ていました」などと話されていました。



▲ラベンダークラフト



▲ネイチャーゲーム



▲平和ソングフェスタ



ワークキャンプ実施しました！

7月30日（火）、障害児入所施設『はなのうら』にて、ワークキャンプ福祉施設体験学習を行いました。ボランティア体験月間である夏休みにおいて、2名の生徒が自主的に、思いやり、助け合いの精神を高める気持ちを育み、福祉を学びました。

ワークキャンプに参加した生徒は、入所者と一緒に食事や歩行訓練、作業などの体験をしました。高校2年生の生徒は「将来は特別支援の先生を目指しているので参加しました。様々な性格の子どもたちと触れ合えて貴重な時間を過ごせました」、中学2年生の生徒は「まだ将来について決めていませんが、今日の体験が一つのきっかけになればと思い参加しました。普段、障がいのある方と触れ合う機会がないため、関わられて良かったです」と振り返っていました。



▲オリエンテーション



▲歩行訓練を見学している様子



視覚障害者交流会(りんご狩り) 参加者募集



日時 10月13日（日）9:00～14:00

雨天決行

場 所：友清りんご園（山口市阿東徳佐下 403）

※防府駅みなとぐち集合 バスで移動

対 象：防府市内在住の視覚障害者とその家族

定 員：30名（先着順）

参 加 費：無料 申込方法：電話（0835）22-3907

申込期限：9月30日（月）





報告 団体基盤強化講座を実施しました！ 全4回

今年度、団体の基盤強化を目的に NPO 団体を対象とした講座を実施しています。
今回は、上半期（6月～8月）に実施した講座の様子をご紹介します♪

6/16
(日)

自団体の活動を掘り下げて考えてみよう！

資料として配布した『くらし×〇〇 つなぎの手帖』は、講師の古賀さんが作成に携わっています。さまざまな“つなぎ手”に関する事例紹介を聞きながら、団体が行っている活動にどのような人や団体に関わることで活動が広がっていくのかを具体的に聞くことができました。また、『自分の身近にあるこまりごと探し』のワークを通して、自団体の活動や、やりたいことを見つめ直すことができました。

講師 ふうおかNPOセンター
代表 古賀 桃子 さん

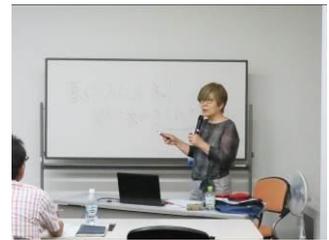


7/8
(月)

活動でかかる費用は何があるの？洗い出してみよう！

『そもそも任意団体って何？』といった基本的なことから、お金の管理の仕方や帳簿のつけ方、勘定科目について、講師の中村さんから話を聞きました。参加団体からは、「これまで任意団体には経理は厳密に求める必要はあまりないと感じていましたが、団体の規模が大きくなったときや助成金をもらうためにも外部から認められる会計をしていく必要があると感じました」といった感想があり、収支を把握し管理していくことの重要性が伝わりました。

講師 (株)FPオフィス縁
中村 恒瑛 さん
防府市市民活動支援センター
山野 悦子 さん



8/3
(土)

防府市の取組み まちをよくするしくみづくり

団体活動をしていく上で、市（行政）がどのようなまちづくりを計画しているか、そして現在どのような事業を行っているのかを知ることとはとても重要です。防府市の財政状況や防府市総合計画について、疑問点や聞きたいことを直接質問できる機会を作りました。講座には、防府市のまちづくりに興味がある高校生も参加し、市の職員の方の話を聞くことで、これまでは知らなかった防府市のことが鮮明になったようでした。

講師 防府市総務部財政課
飯分 徹 さん
防府市総合政策部政策推進課
木原 隆太 さん



8/23
(金)

年間計画表を立てる 収入を考える

皆さんは、団体の活動資金をどのように得ていますか？今回は、年間計画を立てる中で、団体がやりたい事業とその事業に対する収入を得る方法について、お話を聞きました。講師の中村さんは様々な団体で助成金を申請して活用しておられます。その経験談を参考にしながら、自分の団体はどうすればいいのかとじっくり考える時間を取りました。少人数だからこそ、講師との対話の時間を多く取ることができ、収入源の一つとなる、助成金や補助金の申請に挑戦する意欲が芽生えていました。

講師 (株)FPオフィス縁
中村 恒瑛 さん



団体基盤強化講座は今後も続けていきます😊
気になった方はセンターへお問い合わせください♪

information

時 時間 場 場所 内 内容 対 対象 人 定員 料 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

9/29 (日) ほうふ市民活動フェスタ2024を開催します

県民活動フェスタ
2024in防府
と協働開催

時 10:00~14:30

内 高校生による市民活動団体紹介の展示、工作や英語あそびのワークショップ、手作り小物やお菓子・遊休品の販売、ステージ発表、企業の社会貢献活動の紹介、県民活動を応援する相談会など内容盛りだくさん！お父さんが楽しめる縁日コーナーやご家族で楽しめるフォトスポットもあります。

場 防府市地域協働支援センター(ルルサス 防府 2 階)多目的ホール・2 階ロビー

対 どなたでも

問 市市民活動支援センター

TEL (0835) 38-4422



市民活動フェスタ
2024
詳細はこちら



県民活動フェスタ
2024in 防府の
詳細はこちら

10/21 (月) 令和6年度 防府市人権学習講演会

時 14:00~15:30

場 防府市創業・交流センター(デザインプラザ HOFU) 多目的ホール

内 演題: ニュースが伝ええない差別の裏側
講師: 元日本テレビアナウンサー・記者
数本 雅子 さん

対 どなたでも **人** 300名 **料** 無料 **申** 不要

問 市生涯学習課 人権学習室

TEL (0835) 23-3017

10/26 (土) 親子福祉体験教室 参加者募集

時 1回目 10:30 2回目 13:30

場 防府市文化福祉会館 2 階軽運動室

内 車椅子の使い方を学ぶ、館内外にて車椅子体験、体験を通しての振り返り

対 小学 3 年生から高校生まで及びその保護者

人 いずれも 5 組程度 (応募者多数の場合抽選)

申 直接または電話、電子メールで親子の氏名・性別・学年
電話番号・希望時間を 10 月 17 日 (木) まで

問 市社会福祉協議会

TEL (0835) 22-3907



10/24 (木) 防府市文化センター短期講座 「中原中也の詩の世界」

時 10:00~11:30

場 ルルサス文化センター交流室 1

内 『中也読本』を使って、中原中也の詩の世界を学びます。

講師: 中原中也記念館館長
中原 豊 さん

対 どなたでも **人** 30名 (先着順) **料** 無料

申 10月2日(水)~10月16日(水)

問 ルルサス文化センター

TEL (0835) 28-7006 (火曜日休館)

編 集 後 記

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は6月・9月・12月・3月です。

この夏はスペイン旅行に行ってきました♪サグラダ・ファミリア目当てでしたが、他にも素晴らしい建築物ばかりで見てたえがありました！本場のフラメンコにも圧倒されました…。(Y)

12月の読売マラソンに向けて夏の極暑の中、走っておりますが今年は例年以上に暑く感じております。ランニング中に救急車を呼ばれないよう、気を付けたいと思います。(M)

今年の夏はオリンピックで盛り上がりましたね！中でも卓球女子団体の決勝の試合にはしびれました…。人を感動させることができるスポーツの力は偉大だなと感じます。(F)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-0026
防府市緑町 1 丁目 9-2
防府市文化福祉会館内 1 階 10 号
(0835)23-3013
(0835)38-8131
shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

〒747-0026
防府市緑町 1 丁目 9-2
防府市文化福祉会館内 1 階 14 号
(0835)22-3907
(0835)25-1388
fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035
防府市栄町 1 丁目 5-1
笑顔満開通り ルルサス防府 2 階
(0835)38-4422
(0835)24-7733
shimin@hofu-saport.org

